

令和6年度
閱 覧 設 計 書

工 事 名	道路整備(交付金)工事(市比野R6-1工区)
工 事 箇 所	串木野樋脇線 薩摩川内市樋脇町市比野地内
工 期	315日間

【 閱 覧 設 計 書 内 訳 】

内 訳	添付の有無
特記仕様書	○
図面	○
設計内訳(金抜) ※	○
単価根拠表 ※	○

※は参考資料である。

◎本閲覧における問合せについては担当課までお願いします。

担 当 課	土木建築課 道路建設第一係
-------	---------------

【留意事項】

従来の「閲覧設計図」の名称を廃止し、「実施設計図」を閲覧設計書に添付しています。

○鹿児島県 土木部

照合確認	電子閲覧
------	------



特記仕様書

工事名：道路整備(交付金)工事(市比野R6-1工区)

路線名：串木野樋脇線

地区名：薩摩川内市樋脇町市比野地内

第1条 準拠図書

本工事は本特記仕様書、契約書、設計図書によることとし、特に定めのない事項については、下記のとおりによるものである。

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1)土木工事共通仕様書 | (鹿児島県土木部・令和6年4月) |
| (2)土木工事施工管理基準 | (鹿児島県土木部・令和4年1月) |
| (3)土木請負工事必携 | (鹿児島県土木部・平成28年4月) |
| (4)工事関係書類の様式の統一化 | (鹿児島県土木部長通知) |
| (5)道路事業の手引き | (鹿児島県土木部長) |

なお、これらに記載されていない事項で疑義が生じた場合は、監督職員と協議し、かつその指示に従うこと。

第2条 施工条件明示

次の施工条件明示によるものとする

第3条 その他

※別紙参照

施工条件明示（特記すべき事項）

道路整備（交付金）工事（市比野R6-1工区）

明示事項	明示内容	出典	頁	該当項目	
基本事項	概算数量発注	・ 概算数量発注方式により積算・工期設定 設計金額2,500万円未満 標準工期+15日付与 設計金額2,500万円以上 標準工期+30日付与	共通仕様書 11-7-1-14	11-73	—
					—
					—
	契約保証金	・ 契約の保証は、当初請負金額が500万円を超える場合、請負金額の10分1以上の金銭的保証を要す。	契約書 第4条	—	○
	前払金	・ 前払金を40%の範囲内で支払うことができる。 ・ 本工事については、令和7年4月1日以降に請求することができる。 ・ 中間前払金を請求することができる。	契約書 第35条	—	○
					○
	部分払い	・ 部分払いの請求は2回以内で、前金払がある場合でも2回とする。ただし、中間前払金があるときは、部分払いは行わない。	契約書 第38条	—	○
	契約工期	・ 契約工期は、315日間 ・ 翌年度への繰越予定（○○日延長予定）⇒令和○年○○月○○日予定	共通仕様書 11-7-1-21	11-77	○
					—
	余裕期間	・ 余裕期間設定契制度の対象工事 ○○日、○月○日まで	共通仕様書 11-7-1-30	11-82	—
					—
	週休2日（試行）	・ 「週休2日」試行工事	共通仕様書 11-7-2-9	11-86	○
	請負代金内訳書及び工事費構成書	・ 請負金額1億円以上かつ工期が6ヶ月を超える工事	共通仕様書 3-1-1-1	3-1	○
	品質証明	・ 予定価格1億円以上で対象工事	共通仕様書 3-1-1-6	3-5	○
	監理技術者等の途中交代	・ 技術者の途中交代	共通仕様書 11-7-1-3	11-69	○
	監理技術者等の専任を要しない期間	・ 請負金額4,000万円以上の工事	共通仕様書 11-7-1-4	11-70	○
	現場代理人常駐	・ 現場代理人の常駐を要しない場合の明確化	共通仕様書 11-7-1-5	11-70	○
	現場代理人兼任（試行）	・ 現場代理人の兼任に関する運用の試行 兼任可能3件、80,000千円未満など	共通仕様書 11-7-1-19	11-74	—
	特例管理技術者の配置	・ 下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認めない工事 ・ 下請合計金額4,500万円以上で、監理技術者の兼任を認める工事	共通仕様書 11-7-1-18	11-74	—
					○
中間検査	・ 本工事は、中間検査を実施する工事（当初設計金額3,000万円以上） ・ 本工事は、中間検査を実施しない工事（浚渫、寄洲除去など） （令和6年7月24日通知 参照）	共通仕様書 3-1-1-8 11-7-1-17	3-5 11-73	○	
				—	
施工体制台帳	・ 施工体制台帳及び施工体系図等の取り扱い	共通仕様書 1-1-1-10	1-8	○	
施工体系図		11-7-1-9,10	11-71		
法定外の労災保険付与	・ 「土木工事標準積算基準書」を適用する全ての工事	共通仕様書 1-1-1-42	1-31	○	
熱中症対策	・ 熱中症対策に資する現場管理費の補正対象工事	共通仕様書 11-7-1-13	11-73	○	
時間的制約を受ける工事	・ 時間的制約を受ける公共土木工事の積算 ①工事全体で制約 ②現道上の工種で制約 ③積算しない	共通仕様書 11-7-1-15	11-73	—	
				—	
				○	

施工条件明示（特記すべき事項）

道路整備（交付金）工事（市比野R6-1工区）

	明示事項	明示内容	出典		該当項目
				頁	
	施工箇所所在	・ 施工箇所が所在する工事の積算方法	共通仕様書 11-7-1-24	11-78	—
		「〇〇地区、〇〇地区、〇〇地区」			
		一般管理費等の算出率は「〇〇地区」で設定			
	現場環境改善 (イメージアップ)	・ 現場環境改善の適用工事	共通仕様書 11-7-1-20	11-75	○
		CCUS	・ 建設キャリアアップシステム活用工事	共通仕様書 11-7-1-11	11-72
	地域外労働者確保	・ 地域外からの労働者確保に要する設計変更の試行について 三島村（全域）、十島村（全域）、口永良部島、加計呂麻島、与路島、請島の 工事	共通仕様書 11-7-1-31	11-82	—
	国土調査の基準点	・ 国土調査の基準点等測量標識等の保全	共通仕様書 11-7-2-1	11-83	○
	電子納品	・ 電子納品ガイドライン対象工事	共通仕様書 11-7-1-1	11-69	○
	県産資材の優先使用	・ 県産資材の優先使用	共通仕様書 11-7-1-7	11-70	○
	下請工事管内優先活用	・ 下請工事における管内（県内）建設業者の優先活用	共通仕様書 11-7-1-8	11-71	○
	快適トイレ	・ 建設現場における「快適トイレ」設置試行対象工事	共通仕様書 11-7-1-12	11-72	○
	三者技術調整会	・ 本工事は、三者技術調整会を開催する工事	共通仕様書 11-7-1-23	11-77	—
		・ 本工事は、三者技術調整会を開催を予定していない工事			○
危機事象時緊急連絡先	・ 土木工事等において危機事象が発生した場合の対応 地域振興局名： 北薩地域振興局建設部土木建築課 緊急連絡先： 0996-25-5287	特記事項	—	○	
暴力団不当介入	・ 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置	共通仕様書 11-7-1-2	11-69	○	
環境改善 (工事編)	・ 「環境改善実施要領（工事編）」により、工事現場の環境改善に取り組みなければならない。	共通仕様書 1-1-1-45	11-31	○	
工程関係	河川区域制約	・ 令和7年6月11日～10月15日までは、出水期であるため河川内の工事は着手できない。ただし、仮締切工内の工事についてはこの限りでない。	特記事項	—	○
	占用物件など	・ 令和〇年〇月〇日までに、NTT電柱移設が完了予定である。	特記事項	—	—
	部分引き渡し	・ 令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇部分を引渡しを行う。	特記事項	—	—
	作業不能日数	・ 本工事の工期は、波浪等により作業不能日数を〇〇日見込む。	特記事項	—	—
	他工区との調整	・ 先行している工事（A1橋台仮締切工撤去）との工程調整は十分に行うこと。	特記事項	—	○
用地関係	補償物件	・ 一部の用地については、現在移転中であり、令和〇年〇〇月までに移転完了予定である。	特記事項	—	—
	工作物	・ No.〇〇～No.〇〇までの区間は、農作物の収穫が終わる令和〇年〇月〇日頃まで着工してはならない。	特記事項	—	—

施工条件明示（特記すべき事項）

道路整備(交付金)工事(市比野R6-1工区)

明示事項		明示内容				出典		該当項目
						頁		
公害関係	仮設ヤード	・本工事における〇〇の製作に当たっては、仮設ヤードとして下記を考慮。諸条件により難しい場合は、別途協議する。 (1) 場 所： (2) 期 間： (3) 復旧条件：				特記事項	-	-
	公害防止	・本工事の仮締切工の鋼矢板引抜き施工については、油圧式高周波型パイプロハンマを計画している。なお、現地の状況（土質、地質、周辺環境等）により、これによりがたい場合は、別途監督職員と協議するものとする。 ・環境影響調査（騒音、振動）の計測に係る業務委託を別途発注しているが、工事実施においては、施工が周囲に与える影響を最小限とするよう努めることとする。				特記事項	-	○
	水替・流入防止対策	・本工事における橋台については、水替を64日間（作業時）を計画しているが、これによりが難しい場合は、監督職員と別途協議することとする。				特記事項	-	○
工事関係	ICT活用工事	・発注者指定型（土工）10,000m3以上				試行要領	-	
		・受注者希望型（土工）						
		・受注者希望型（作業土工（床掘））						
		・受注者希望型（土工（1,000m3未満））						
		・受注者希望型（小規模土工）						
		・受注者希望型（法面工）						
		・受注者希望型（舗装工）						
		・受注者希望型（舗装工（修繕工））						
		・受注者希望型（付帯構造物設置工）						
		・受注者希望型（地盤改良工）						
		・受注者希望型（河川浚渫工）						
		・受注者希望型（構造物工（橋台・橋脚））						○
		・受注者希望型（構造物工（橋梁上部））						
		・受注者希望型（基礎工）						
・受注者希望型（擁壁工）								
・受注者希望型（コンクリート堰堤工）								
コンクリート工	・コンクリートは、JISA5308に規定するレディーミクストコンクリートとし、品質については、下記のとおりとする。				特記事項	-	○	
	呼び強度	スランブ	空気量	粗骨材最大粒径				
	24N/mm ²	12.0cm	4.5%	20mm				
	使用工種	水セメント比	セメントの種類	その他				
スランブ	・鉄筋コンクリート構造物等のスランブ値について				共通仕様書 11-7-2-10	11-86	○	
シラスコンクリート2次製品	・シラスコンクリート間知ブロック、・シラスコンクリート大型積ブロック、・シラスコンクリート歩車道境界ブロック（B型）、・シラスコンクリート落蓋U型溝及び蓋版（縦断用）、・シラスコンクリート落蓋U型溝（横断用）、・シラスブロック（平板型）・（地域自然石型）、・かぶせ蓋式U型側溝及び蓋版（道路用・水路用）				共通仕様書 11-7-2-6	11-85	-	
交通誘導警備員	・現道工事等における交通誘導警備員の資格要件の条件明示				共通仕様書 11-7-1-22	11-77	-	
工用道路関係	・盛土材の運搬経路は、土取場⇒主要県道 〇〇〇線⇒市道〇〇線⇒現場とし、他の経路は通行してはならない。				特記事項	-	-	
	・〇道〇〇号は、〇〇市との協議の結果、〇〇t以上の工事車両は通行してはならない。				特記事項	-	-	

明示事項	明示内容			出典	該当項目				
				頁					
	・本工事施工に伴う工事用車両進入路については、施工状況に応じて粉じん防止のため1日1回程度の散水を行うとともに、路面維持に努めること。			特記事項	-	○			
仮設道路関係	・仮設道路については、別添資料のとおり、幅員W= m, 延長L= mで計画している。これにより難しい場合は、別途協議するものとする。			特記事項	-	-			
工事標示施設	・通常看板「道路工事現場における表示施設等の設置基準」 ・「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」追加看板			特記事項	-	○ -			
仮設備関係	・本工事の施工のために必要な迂回路に仮設する仮橋の構造は、別添図面とおりとし、存置期間は、橋梁上部工及び道路改良工事完了後を予定している。			共通仕様書 11-7-1-29	11-81	○			
	・本工事で設置した足場は、引き続き発注される○○工事（令和3年○月発注予定）及び○○○工事（令和3年○月発注予定）に使用する予定があるので、工事完了後も存置するものとする。					-			
ヤンバルトサカヤステ	・ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策について (対象市町村については鹿児島県ホームページにて最新版を確認のこと。)			共通仕様書 11-7-2-3	11-84	○			
過積載防止	・建設工事における過積載防止の徹底について			共通仕様書 11-7-2-2	11-83	○			
遠隔臨場（試行）	・公共工事等における遠隔臨場の試行工事			共通仕様書 11-7-1-16	11-73	○			
鳥インフルエンザ	・高病原性鳥インフルエンザ対策の徹底について			共通仕様書 11-7-2-7	11-85	-			
建設副産物	建設発生土の処理	建設発生土は、下記の場所に搬出すること。 受入れ場所：薩摩川内市樋脇町塔之原地内 処分場名：(株)光祐 運搬距離：L=6.8 km その他：			共通仕様書 11-7-1-26	11-80	○		
	建設リサイクル法		工程	作業内容	分別解体等の方法（※）	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○	
		①分別解体等の方法	①仮設	仮設工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				鹿児島県における再生資材活用工事実施要領（土木）の運用
			②土工	土工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
			③基礎工事	基礎工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
			④本体構造	本体構造の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用				
	⑤本体付属物		本体付属物の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用					
※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は、記載の必要はない。	②再資源化等をする施設の名称及び所在地		特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地				
再生資源の利用	資材名	規格	備考（使用箇所）	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	-			
	再生加熱アスファルト混合物	A s量 ▲%密粒再生							
	再生切込砕石（かごしま認定リサイクル製品）	RC-40(30)							

施工条件明示（特記すべき事項）

道路整備（交付金）工事（市比野R6-1工区）

明示事項	明示内容				出典		該当項目
					頁		
建設発生土の利用	・埋戻に使用する土は、建設生土を利用するものとする。ただし、掘削後の土質に応じて再利用を検討するため、監督職員と別途協議すること。				共通仕様書 11-7-1-26	11-80	○
建設副産物の搬出	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	○
①指定副産物	コンクリート	(株)ジョイント	薩摩川内市入来町副田	L=6.6km			
	アスファルト						
	木くず						
②一般廃棄物	刈草・選定枝葉						
建設汚泥の再生利用	中間処理の場所	中間処理の方法	再生品の品質	利用用途	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	—
①処理概要							
②「建設汚泥処理土の品質区分基準」	品質区分基準	指標等		試験回数	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	/
	品質基準	コーン指数					
	生活環境保全上の基準	土壌環境基準（環境基本法） 特定有害物質の含有量基準（土壌汚染対策法）					
建設汚泥の搬出	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	運搬距離	共通仕様書 11-7-1-25	11-78	/
①施設の名称及び所在地							
②受入時間	〇〇処分場：〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分 エコパークかごしま：〇〇時〇〇分～〇〇時〇〇分						
③その他 仮置き等必要条件							
舗装切断作業時に発生する排水の処理	舗装切断作業時に発生する排水の処理について				共通仕様書 11-7-1-28	11-81	—
根株、伐採木等の利用	保管場所：〇〇市〇〇町〇〇地内				共通仕様書 11-7-1-27	11-81	—
発生工事 利用工事	・〇〇市〇〇町〇〇地内に保管している、根株・伐採木を法面工の基盤材として、発注者から引き受けることとする。						
その他	関係機関との協議	・本工事における、下記工種については、仮橋及び人家等と近接して施工するため、施工計画作成及び工事の施工にあたっては、十分に留意するものとする。			共通仕様書 1-1-1-37 11-7-2-5	1-28 11-85	○
	施工体制点業務への協力	・本工事の施工体制点検業務を委託している「施工体制調査員」が工事現場に点検を実施する。			共通仕様書 11-7-2-4	11-85	—
	路上工事の縮減	・路上工事縮減に関する行動計画			特記事項	—	○
		①お盆					—
		②年末年始					○
		③交通への影響が大きい期間（祭り、イベント等）					○
	漁協権者との調整	・工事着手前に、水利関係者等と工法（仮締切時の平時における流量確保）、施工時期、水質汚濁防止の方法等について協議し、河川工事の理解と協力を得ること。			特記事項	—	○

施工条件明示（特記すべき事項）

道路整備(交付金)工事(市比野R6-1工区)

明示事項	明示内容				出典	該当項目	
					頁		
工事現場発生品	・在来施設の撤去により生じた現場発生品は、当該工事に使用するものとし、残量については、下記の場所まで運搬のうえ引渡すものとする。				共通仕様書 1-1-1-18	1-12	—
							現場発生品名
支給材料及び貸与品	・本工事における支給品は、下記のとおりとする。				共通仕様書 1-1-1-17	1-11	—
							支給品名
部分使用	・本工事については、工事引き渡し前に工事請負契約書第33条により下記について部分使用する場合がある。その際は、受注者の承諾を得るものとする。 (1) 部分使用範囲：別添図のとおり (2) 目的： (3) 部分使用期間：令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日				契約書 第34条	—	—

第3条 その他

1. (技術者)

受注者は、測量・調査・施工管理・検査のために専属して経験のある技術者を常置し、監督職員の指示に応じなければならない。

2. (出来形確認)

工事請負契約書第32条に基づき、受注者が工事の完成を通知するまでの間において、現場代理人又は主任技術者等の立会いのもと、最終出来形確認を実施するものとする。

3. (長期休暇期間の連絡体制等)

工事の期間が年末年始、長期連休期間、盆休み、その他長期休暇中に係る場合は、事前にその期間の管理体制、緊急連絡体制について記した書類を提出すること。

また、警報発令等の悪天候後は、現場巡回を行い、結果を連絡すること。

4. (各種様式及び要領等)

本特記仕様書内の各種様式及び実施要領等について、詳細を記載していないものは、鹿児島県ホームページ (>分類から探す> 社会基盤> 公共事業> 技術管理・検査) から取得できる。

5. (工事履行報告書)

毎月25日までに、月末時点における工事履行報告書及び工事進捗状況写真（全景又は代表部分）を監督職員へ提出すること。

6. (安全・訓練等の実施状況報告書)

土木工事共通仕様書（第1編1-1-1-26 第8項）に基づく定期安全研修・訓練等の実施状況について、「安全・訓練等の実施状況報告書」に記録するとともに、その実施状況写真を添付し、工事完成図書に含めて監督職員へ提出すること。

7. (ひび割れ誘発目地材の施工)

ひび割れ誘発材については、施工前に設置位置の妥当性を検討のうえ監督職員と協議し、施工すること。

なお、これについては変更契約の対象とする。

8. (仮締切工の鋼矢板引抜き範囲)

仮締切工の鋼矢板引抜き数量については、家屋等への影響を考慮した想定数量としている。

これについては、引抜き作業前にその範囲を監督職員に確認のうえ施工すること。

9. (既設橋台の撤去に係るブロック積込・取卸等)

既設橋台の撤去に係るブロック積込等に係るクレーン規格や施工日数については、切断するブロック割付毎の重量を基に5日を想定している。これにより難しい場合には、施工計画を立案のうえ監督職員と協議すること。

10. (護岸工の施工に係る大型土のう締切について)

護岸工の施工に係る大型土のう締切については、先発工事で設置した土のうを流用することを想定している。これにより難しい場合には、監督職員と協議すること。

なお、これについては変更契約の対象とする。

11. (護岸すりつけ工について)

すりつけ工については、床堀（岩塊・玉石）により発生する材料を流用することを想定している。これにより難しい場合には、監督職員と協議すること。

12. (仮橋賃料の対象重量について)

仮橋賃料の対象重量は、上部工及び下部工（P1側）において設計計上している。

13. (塀ブロックの復旧について)

A1橋台施工完了後に先発工事にて撤去した塀ブロックの復旧を当該工事にて行う予定としているため、現地を調査・測量のうえ監督職員と協議すること。

なお、これについては、変更契約の対象とする。